

平成25年12月17日

医療機関長 各位

東北大学病院長
下瀬川 徹

第40回宮城県緩和ケア研修会の開催について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本院に対しまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、緩和ケアについて、がん対策基本法に基づき、がん対策推進基本計画が策定され、この中に「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得する」ことが目標として掲げられているところであります。

つきましては、下記のとおり研修会を開催しますので、お知らせいたします。

記

1. 日 時 平成26年2月15日(土) 午前8時45分～午後4時20分
平成26年2月16日(日) 午前9時～午後4時20分
2. 場 所 東北大学医学部臨床講義棟2階臨床中講堂
3. 対 象 者 がん診療に携わる医師。ただし、3年以上のがん診療に関連のある病棟・外来での経験を持つ看護師・薬剤師の方も応募可。(医師優先で先着32名)
4. 内 容 別紙プログラムのとおり
 - ・2日間の全プログラムを受講した者には宮城県より修了証書が授与されます。
 - ・分割して受講する場合、いくつかの研修会に参加し、すべての単位を取得する必要があります。
5. 参 加 費 無料(交通費、昼食代等は自己負担となります。売店は営業予定です。)
当日、当院外来駐車場の利用可能ですが、なるべく公共交通機関をご利用ください。
6. 申込締切 平成26年1月24日(金)
7. 申込方法 別紙申込書によりFAXにて申込み願います。
【FAX: 022-717-7132】
8. 受講案内通知 平成26年1月31日(金)までに郵送にて通知いたします。
9. 問合せ先 東北大学病院 地域医療連携室
【電話番号: 022-717-7131】
【E-mail: ijih-thk@umin.net】
10. 参 考 宮城県保健福祉部疾病・感染症対策室がん対策班
宮城県緩和ケア研修会ホームページアドレス
【http://www.pref.miyagi.jp/situkan/gan-portal/kanwa_kensyu/top.html】

第40回宮城県緩和ケア研修会プログラム 時間割 (東北大学病院用)

研修会企画責任者: 中保利通

日程: 2014年2月15日(土)、2月16日(日)の二日間、約30名程度

会場: 東北大学医学部臨床講義棟2階臨床中講堂

1日目

| 区分 | 分野 | 内容 | 備考 | プレテスト 及び解説 | 最低必要 単位 | 宮城県 設定単位 | 担当講師・ ファシリテータ | 時間帯 |
|----|----------------------|---|---|---------------------|----------------|---------------|---------------------------|-----------------|
| | | オリエンテーション | | | | | 中保利通 | 8:45 -9:00 |
| C | 疼痛以外の 身体症状 | 呼吸困難, 消化器症状等の 身体症状に対する緩和ケア | ・消化器症状(45分) ・呼吸器症状・倦怠感(45分) | ○ | 0.5単位 (45分) | 1単位 (90分) | 小笠原鉄郎 | 9:00 -10:30 |
| | 精神症状に 対する緩和 ケア | 不安, 抑うつ及びせん妄等の 精神症状に対する緩和ケア | 全人的なケアも含む | ○ | 0.5単位 (45分) | 1単位 (90分) | 三浦伸義 | 10:40 -12:10 |
| | | 昼食・休憩・情報交換 | | | | | | 12:10 -13:10 |
| D | コミュニ ケーション 技術 | がん医療におけるコミュニ ケーション技術についての講義 及びワークショップ | 講義 | ○ | 1単位 (90分) | 2単位 (180分) | 中島信久 (旭川医科大学病院) | 13:10 -16:10 |
| | | | ア)グループ討論による患者への 悪い知らせの伝え方 | アイスブ レーキン グあり | | | 三浦伸義、小笠原鉄郎、 杉山克郎、山川真由美 | |
| | | | イ)ロールプレイングによる患者への 悪い知らせの伝え方についての 演習 | | | | | |
| | | 1日目のまとめ・連絡 | | | | 1日目 計4単位 | 中保利通 | 16:10 -16:20 |

2日目

| 区分 | 分野 | 内容 | 備考 | プレテスト 及び解説 | 最低必要 単位 | 宮城県 設定単位 | 担当講師・ファシリテータ | 時間帯 |
|----|---------------|--|---|---------------------|----------------|----------------|------------------------|-----------------|
| A | 疼痛緩和 (1) | がん性疼痛の機序・評価 およびWHO方式がん性 疼痛治療法の概略 | 全人的ケアについても含む(90分) | ○ | 0.5単位 (45分) | 1単位 (90分) | 伊達久 | 9:00 -10:45 |
| | | がん性疼痛の治療法の実際・ 神経ブロックの適応 | 医療用麻薬の副作用対策・神経 ブロックも含む(15分) ・放射線治療・IVR(30分) | ○ | 0.5単位 (45分) | 0.5単位 (45分) | 坂谷内徹 | 10:50 -11:20 |
| | 地域連携・ 在宅ケア | がん患者の療養場所の選択、 地域連携及び在宅緩和ケア | | | - | 0.5単位 (45分) | 西崎久純 | 11:25 -12:10 |
| | | 昼食・休憩・情報交換 | | | | | | 12:10 -13:10 |
| B | 疼痛緩和 (2) | がん性疼痛に関する ワークショップ | ア)グループ演習による症例検討1 (がん性疼痛を持つ患者の評価 及び治療) | アイスブ レーキン グあり | 2単位 (180分) | 2単位 (180分) | 山川真由美 (山形大学医学部附属病院) | 13:10 -16:10 |
| | | | イ)グループ演習による症例検討2 (がん性疼痛に対する治療と処方 箋の実際の記載) | | | | 伊達久、西崎久純、 丹田滋、高橋通規 | |
| | | | ウ)ロールプレイングによる医療用 麻薬を処方するときの患者への 説明の実際 | | | | | |
| | | 2日目のまとめ・連絡 | | | | 2日目 計4単位 | | 16:10 -16:20 |

F A X 番号 (0 2 2 - 7 1 7 - 7 1 3 2)

第40回 宮城県緩和ケア研修会

申 込 申 書

| | | |
|---|----------|--|
| 医療機関名 施設名 | | |
| 所 属 | | |
| 職 名 | | 医師 ・ その他() |
| 氏 名 | | |
| 医籍登録番号 (医師のみ) ※厚労省の指導により、 確認が必要となりました | | |
| 連絡先 | 住 所 | 〒 _____ (施設・自宅) どちらか○をつけてください。 |
| | 電話番号 | |
| | F A X 番号 | |
| | メールアドレス | |
| 希望受講区分 (希望される受講区分に○を 付けてください。) | | A B C D |

※ 連絡先には受講決定通知、修了証書の送付やその他確認事項があった場合に連絡いたします。
 ※ なお、個人情報につきましては当研修会において使用するものであり、その他の目的では使用いたしません。